




新型コロナウイルスに係る入院体制

患者数の増加に備え、受入れ体制が整った病床数を119床（運用86床）から151床へ拡充

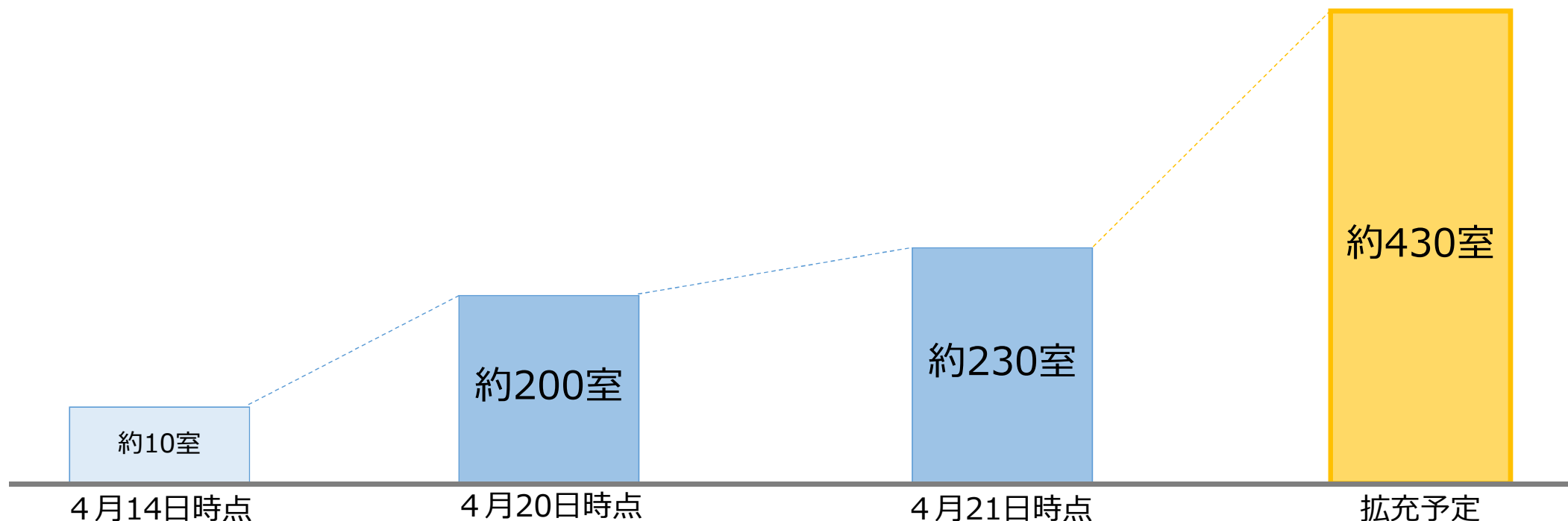
	現在の病床数	入院患者数		拡充後病床数
 重症 (人工呼吸器使用)	14床	6名	▶	30 床
 中等症 (酸素吸入等、入院加療が必要)	105床	16名	▶	121 床
 軽症		56名		
計	119床	78名	▶	151 床

※現在119床のうち、院内感染防止の観点から、感染症指定医療機関を中心に、86床で運用中

県民の生命・身体の安全を確保するため、医療従事者は日夜懸命に闘っているにもかかわらず、偏見に基づく風評被害が確認されており、県としては極めて遺憾

軽症者・無症状者の受入れ体制

重症・中等症の患者に必要な医療が提供できるよう、軽症・無症状の患者を宿泊施設等で受入れ



- 公的・民間4施設で約230室確保済み
- 4月14日から受入れ開始（現在3名）

県央地域でも
受入れ施設拡充

感染症対策の専門家の指導の下、適切な施設の運用体制により、
施設周辺への感染拡大の可能性を徹底的に排除

新型コロナウイルス感染症対策に係る「発熱外来」設置に際しての協力要請

院内感染や患者のたらい回し防止の観点から、

茨城県医師会に「発熱外来」設置への協力を要請

